

ヒナノウスツボ

Scrophularia duplicatoserrata (Miq.) Makino

ゴマノハグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

茎はやや軟弱で高さ40~80cm、やや角張った4稜がある。葉は対生し、長さ1~3cmのやや翼のある柄があり、葉身は卵状長楕円形でとがった重鋸歯があり、長さ7~15cm、幅3~5cm。萼は5片に深く裂け、裂片は卵形または披針形でとがる。

国内分布

本州(関東以西)、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

多年草、花期は7~9月。

生育環境

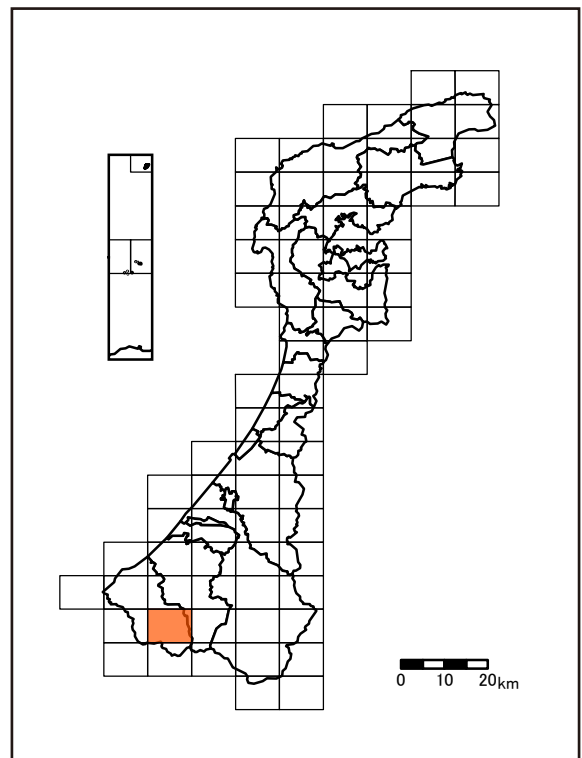
山地の林中。

危険要因

道路工事、動物食害、自然遷移、産地局限。



小野ふみゑ・2007年8月5日・加賀



県内の分布